

キヤノン株式会社
2023年経営方針説明会

キヤノン全体戦略

2023年3月6日

代表取締役会長兼社長 CEO

御手洗 富士夫

Canon

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

グローバル優良企業グループ構想 PhaseVI

- 2年間の成果の振り返り P 1-2
- 今後の戦略 P 3-6
- 財務戦略 P 7
- まとめ P 8

2年間の成果の振り返り

4つの産業別グループへ再編成

現行事業

オフィス複合機	カメラ
レーザープリンター	
インクジェット	露光装置

重複



新規事業

商業印刷	メディカル
ネットワークカメラ	産業機器

組織合理化、シナジー効果発揮

プリンティング



イメージング



メディカル



インダストリアル



新しい製品やサービスを生み出しやすい体制の確立

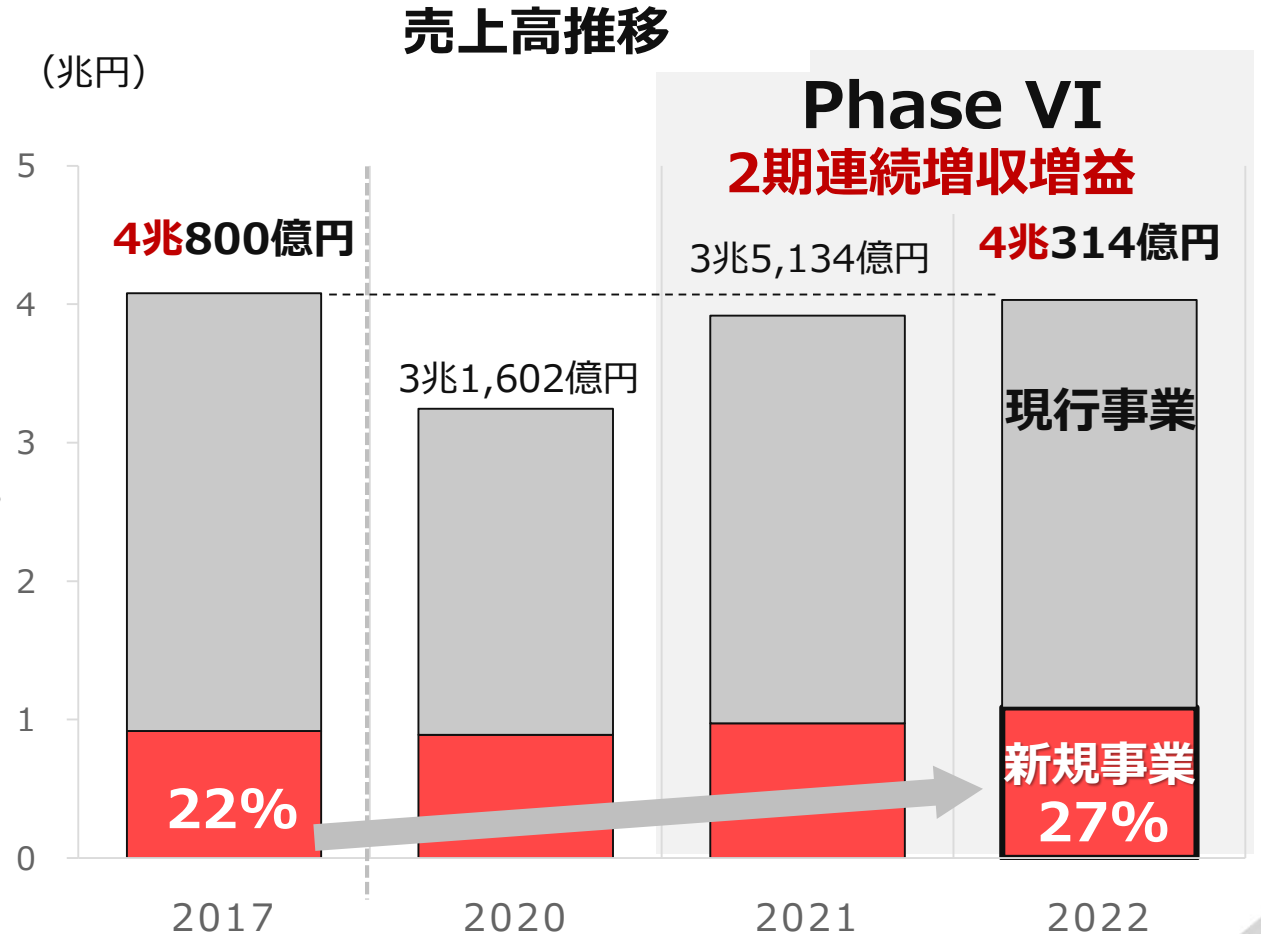
2年間の成果の振り返り

厳しい外部環境の中でも、事業ポートフォリオの転換の効果を発揮

- **部品逼迫：設計変更、新規調達先の開拓**
- **物流制約：代替輸送ルート確保**

高い製品競争力

- ・コスト増を販売価格へ反映
- ・販売数量拡大



今後の戦略（基本方針）

2023年の市場は正常な状態へ

2025年の目標達成に向けた戦略実行を加速

<基本方針>

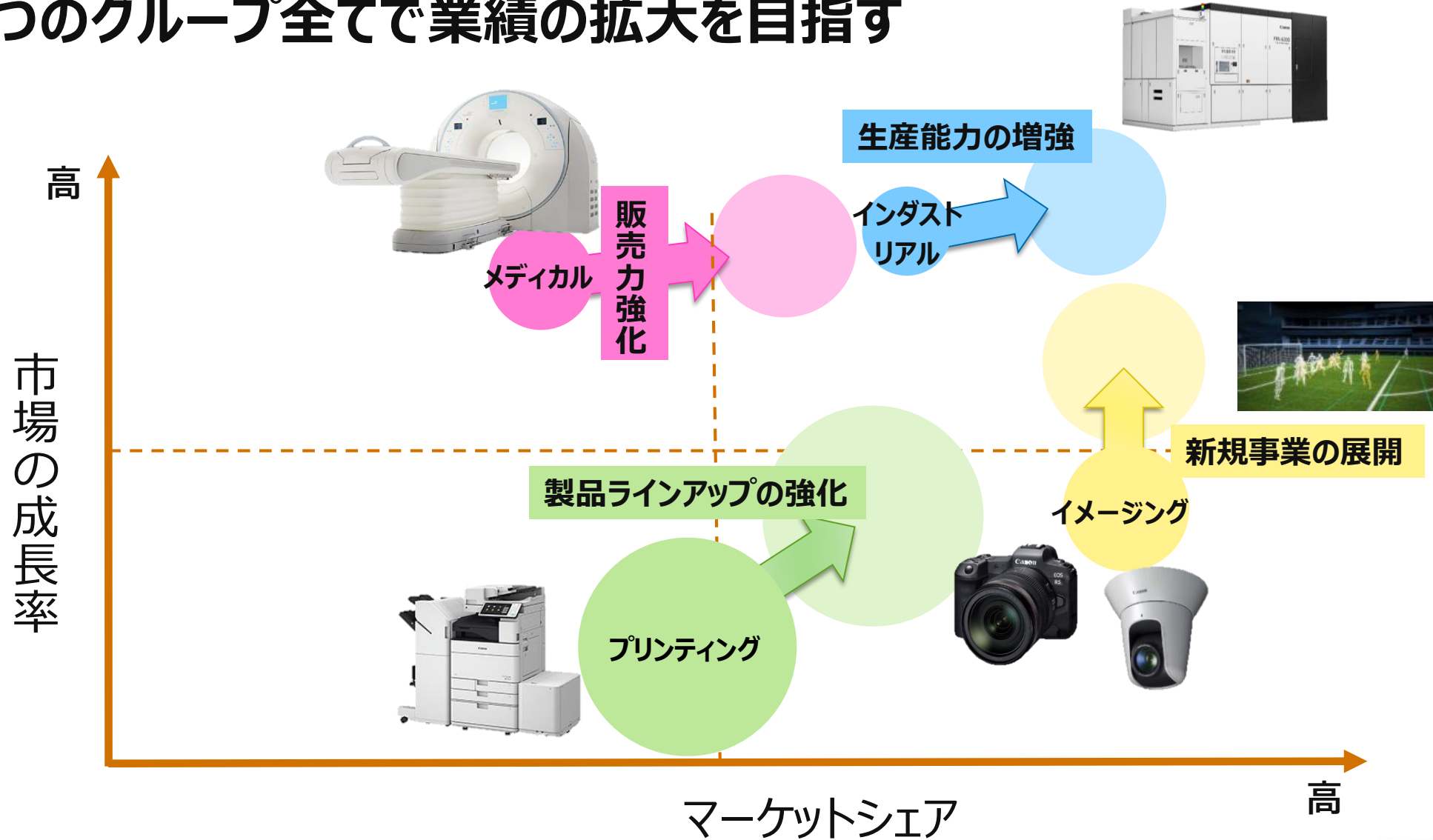
「生産性向上と新事業創出によるポートフォリオの転換を促進する」

<戦略>

1. 産業別グループの強化拡大
2. 自社技術を核とした新製品・サービスの開発
3. グローバル生産体制の再構築

今後の戦略（1.産業別グループの強化拡大）

4つのグループ全てで業績の拡大を目指す



今後の戦略（2. 自社技術を核とした新製品やサービスの創出）

独自技術の開発による新規事業の創出

プリンティング	イメージング	メディカル	インダストリアル
			
2010年	2015年	2016年	2007年
			
商業印刷	ネットワークカメラ	メディカル	産業機器

・コア技術

・M&Aで
獲得した技術

技術を融合

全社横断的に技術を結集(フロンティア事業推進本部)

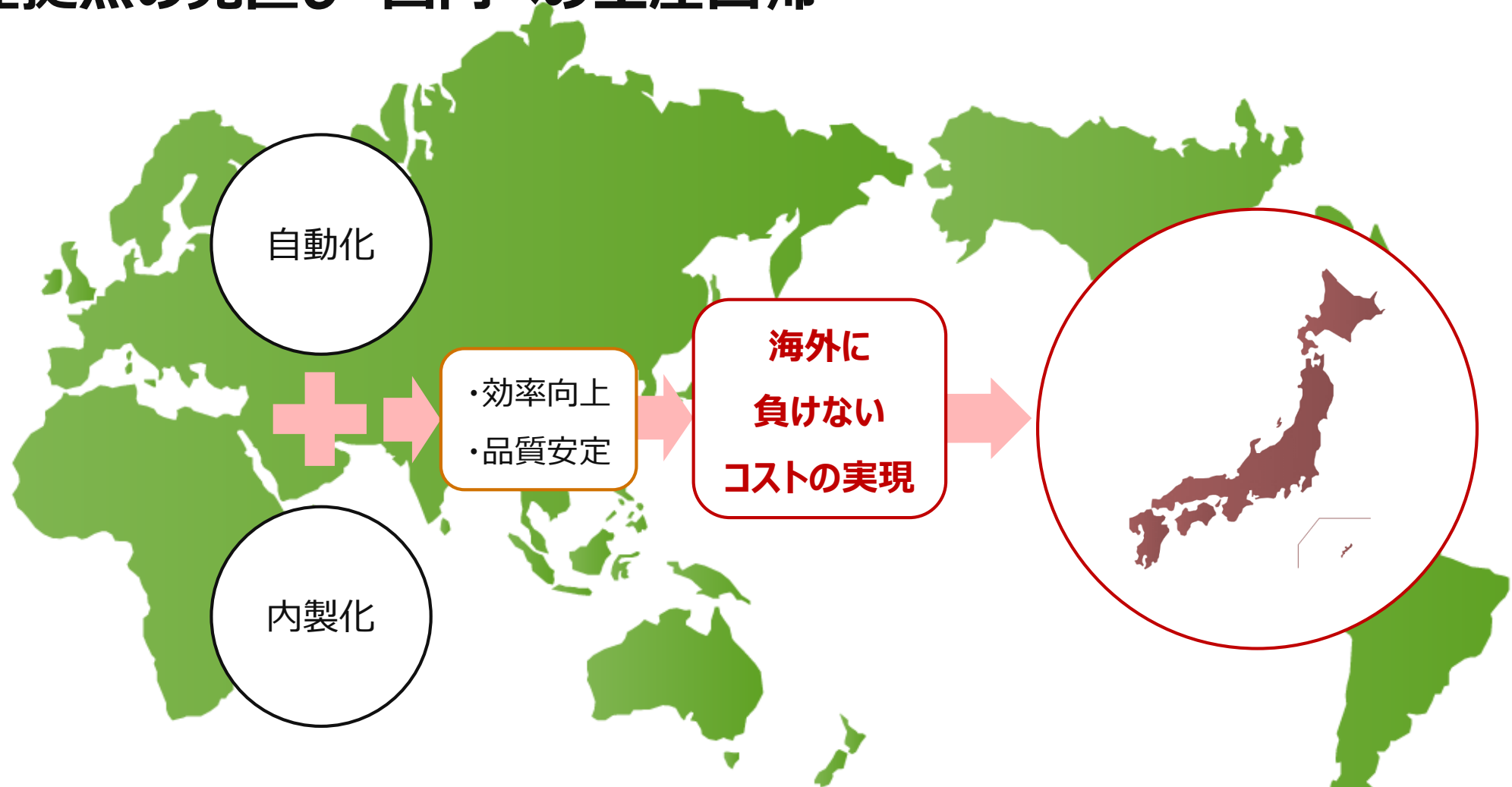
ライフサイエンス

マテリアル

ソリューション

新たな製品や
ソリューション
を創出

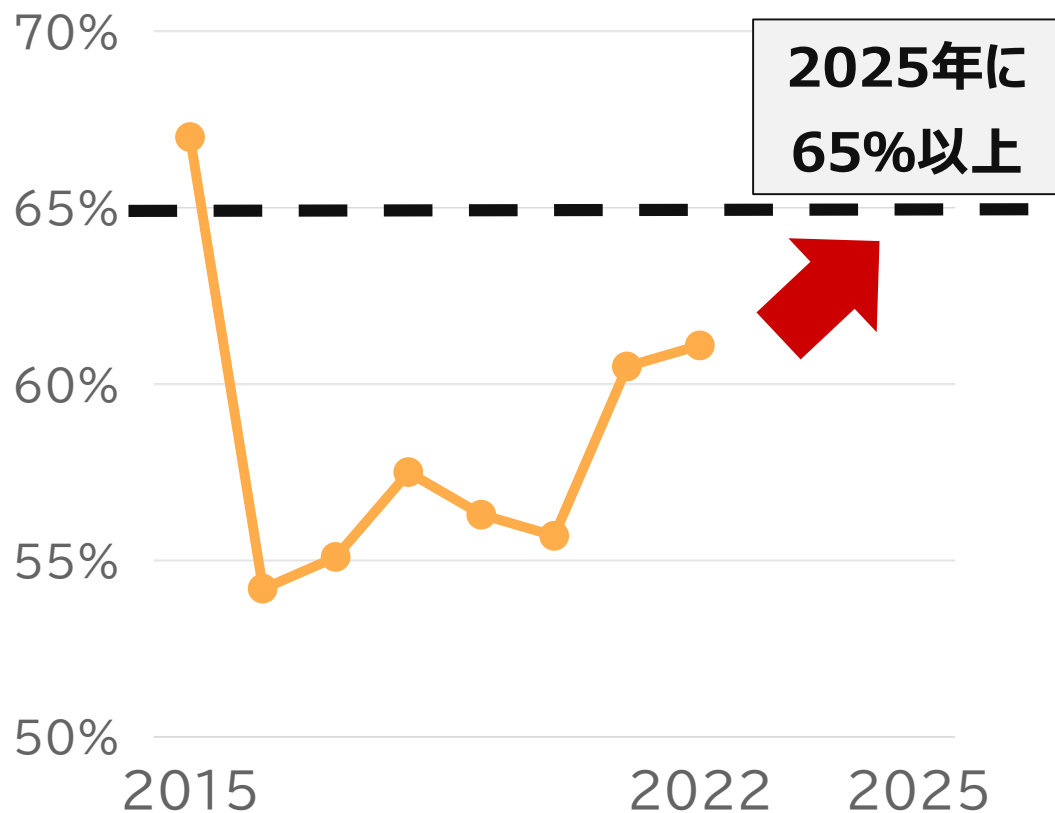
生産拠点の見直し 国内への生産回帰



安定生産とコスト競争力の獲得を同時に実現

健全な財務体質の維持・強化

自己資本比率の向上



<~2025年方針>

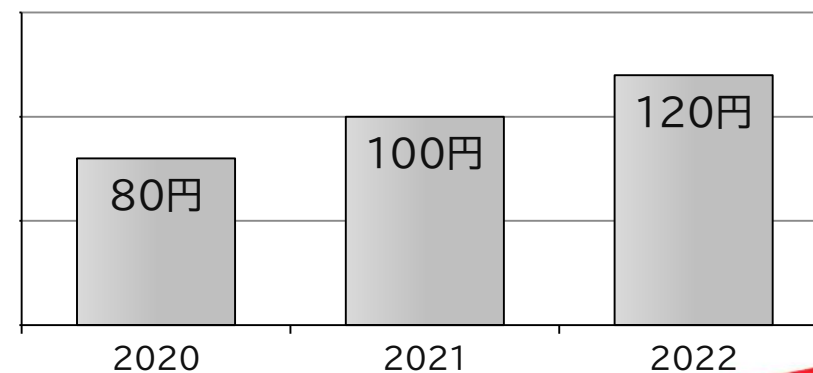
① 規律を守りながら積極的な成長投資

- ・設備投資：毎年約2,400億円を計画
- ・M & A：取り揃えたビジネスを補完・強化

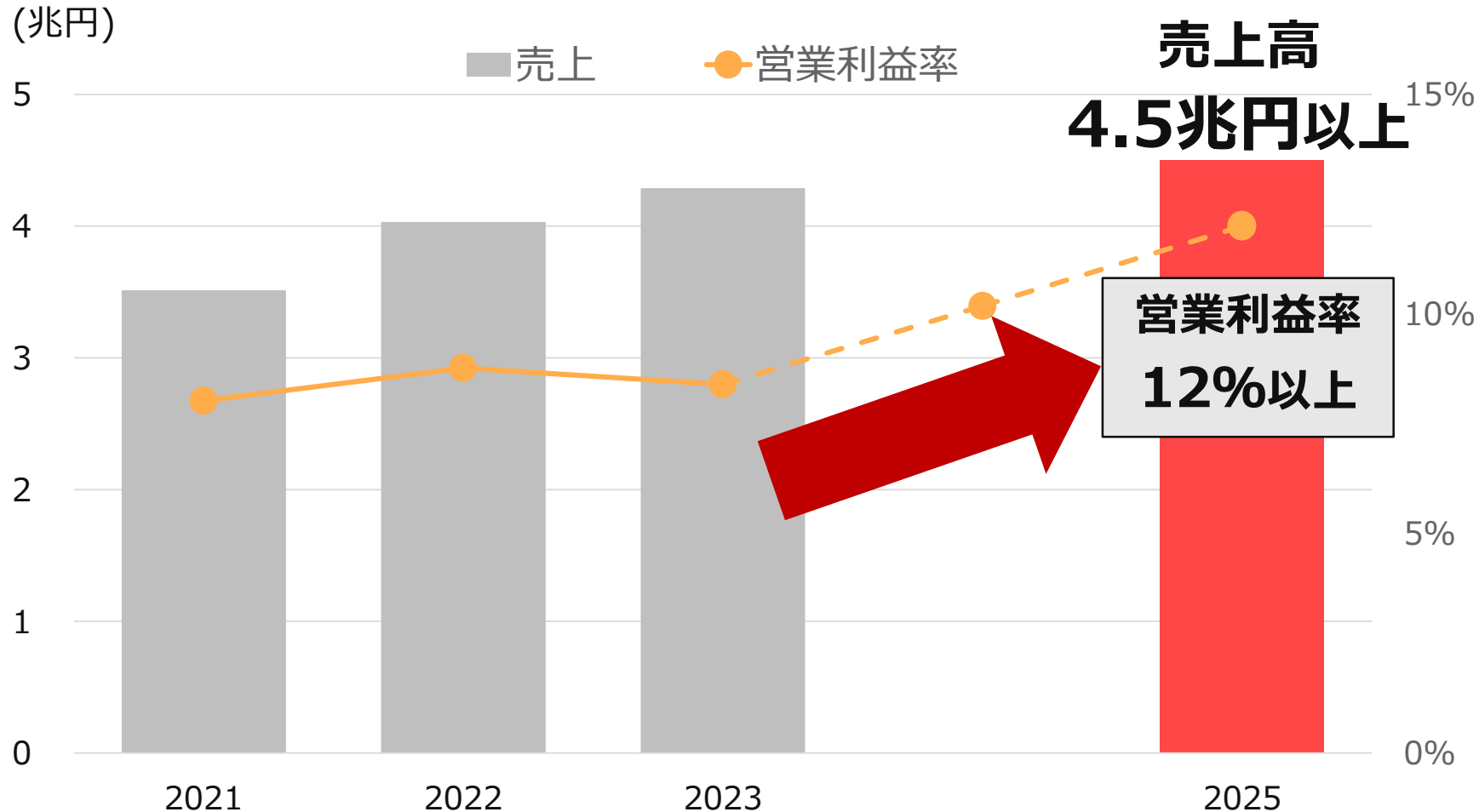
② 安定的かつ積極的に株主還元

配当性向50%を上限

一株当たり配当金



事業ポートフォリオの転換により、生まれ変わったキヤノン 社会の急激な変化に対応し、成長を実現



2025年目標

売上高：4兆5,000億円以上

営業利益率：12%以上

純利益率：8%以上

株主資本比率：65%以上

為替 USD=105円 EUR=120円